

第 51 回徳島透析療法研究会 プログラム・抄録集

日時 2021 年 11 月 7 日（日）

会場 四国大学 共通講義棟 1 階

共催 徳島県透析医会

ご挨拶

徳島透析療法研究会会長 橋本寛文
(吉野川医療センター)

晩秋の候、皆様方におかれましてはご健勝のことと存じ上げます。

さて当研究会は約 50 年間に一度の休会中止もなく開催されてまいりましたが、昨年はコロナ禍により初めての開催中止となり非常に残念な結果となりました。本年もいまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見えていませんが、ワクチン接種も進み終息の気配が少し感じられるようになってまいりました。本年は何とか開催したいとの役員会の意見を踏まえ準備してまいりましたが、この原稿を推敲している段階では、開催の可否が決定しておりません。それでも開催を期待する気持ちの中でご挨拶申し上げます。

第 51 回徳島透析療法研究会は例年通り 11 月末の日曜日の開催予定でしたが、関連他学会の日程や開催場所である四国大学の事情により、少し早いのですが 11 月 7 日開催となりました。特別講演には JSDT の新理事長の武本佳昭先生に、ランチョンセミナーには倉賀野隆裕先生、米田龍生先生にお願いし 2 題を予定しております。一般演題はコロナ禍のなか、応募数を心配しておりましたが、ほぼ例年通り 19 題の応募をいただきました。活発なご討議をお願いしたいと存じます。

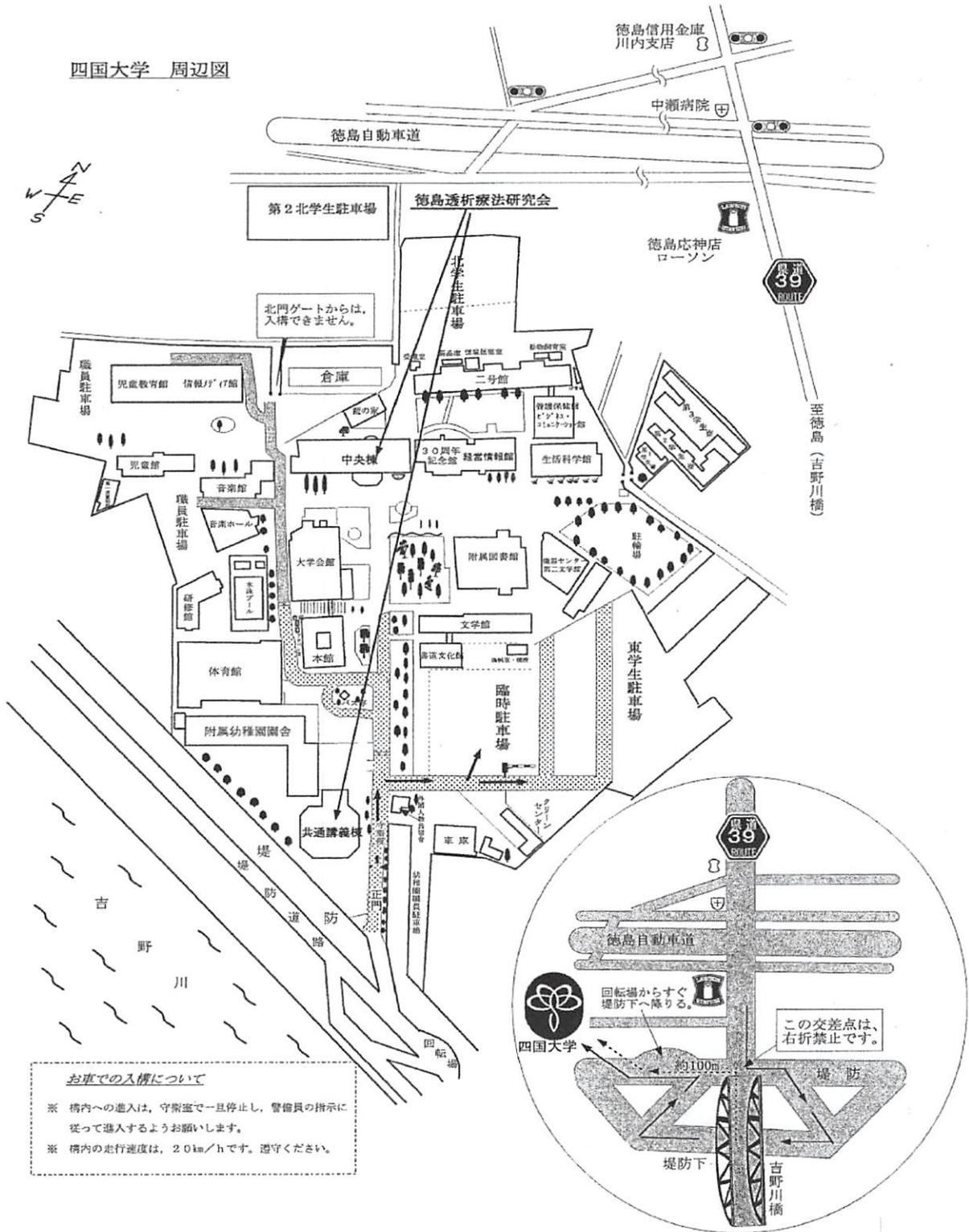
新型コロナウイルス感染症という新しい感染症は、透析患者においては死亡率 20%を超える恐ろしい感染症です。これは、われわれ医療従事者にとって未曾有の経験であり、災害にも匹敵する事態となりました。この困難な状況を乗り越えられるよう関係者が一丸となって力を傾注し透析患者を守ることは非常に重要ですので、皆様方にはなお一層のご努力をお願い申し上げます、簡単ではございますが開会のご挨拶とさせていただきます。

徳島透析療法研究会役員	顧問	水口 潤	(川島病院)
	会長	橋本 寛文	(吉野川医療センター)
	幹事	岡田 一義	(川島病院)
		神田 和哉	(徳島県立中央病院)
		須藤 泰史	(半田病院)
		田代 学	(川島病院)
		濱尾 巧	(亀井病院)
		林 秀樹	(吉野川医療センター)
		松浦 元一	(徳島赤十字病院)
		山口 邦久	(徳島大学)
	監事	稲井 徹	(徳島県立中央病院)
		山本 修三	(たまき青空病院)

日程表

	第1会場	第2会場	
9:50	開会の辞		
10:00	一般演題 0-01~0-07 座長：田代 学 (川島病院)	一般演題 0-13~0-19 座長：山下 翔 (川島病院)	10:00
11:10			11:10
11:25	LS-1：協和キリン株式会社 演者：倉賀野 隆裕 (兵庫医科大学) 司会：水口 潤 (川島病院)	LS-2：大塚製薬株式会社 演者：米田 龍生 (奈良県立医科大学) 司会：林 秀樹 (吉野川医療センター)	11:25
12:25			12:25
12:30	特別講演 演者：武本 佳昭 (大阪市立大学) 司会：橋本 寛文 (吉野川医療センター)		
13:30	総会		
13:45	一般演題 0-08~0-12 座長：数藤 康代 (川島病院) 佐藤 由布子 (吉野川医療センター)		
14:35	閉会の辞		
14:45			

会場付近の案内図 共通講義棟 1階

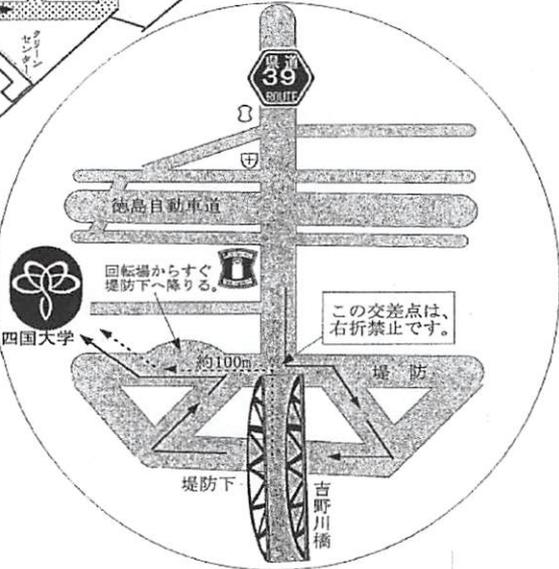


四国大学 周辺図



お車での入構について

- ※ 構内への進入は、守衛室で一旦停止し、警備員の指示に従って進入するようお願いします。
- ※ 構内の走行速度は、2.0km/hです。遵守ください。



お知らせとお願い

参加される方へ

1. 受付は会場前にて9:00より開始いたします。
2. 受付の際、参加費1,000円を支払って、参加証（領収書を兼ねる）を受け取り、所属・氏名をご記入ください。
3. 会場でのご発言は、マイクを使用し所属・氏名を最初にお話してください。
4. 場内は禁煙です。
5. 「日本透析医学会専門医」の単位取得について
第51回徳島透析療法研究会に参加されますと、日本透析医学会の専門医制度により定められた3単位を取得できます。単位取得のための参加証は参加受付にてネームカードを確認の上お渡しします。
6. 日本腎不全看護学会「透析療法指導看護師認定試験」受講資格ポイント取得について
第51回徳島透析療法研究会に参加されますと、日本腎不全看護学会「透析療法指導看護師認定試験」受講資格ポイント（地方）を取得することができます。

座長の方へ

1. 開始の10分前には次座長席に、ご着席ください。
2. 一般演題発表時間および討論時間の厳守をお願いいたします。

発表者の方へ

1. 一般演題の発表時間は、7分です。時間厳守をお願いいたします。
2. 討論時間は、3分となっております。
3. 発表はすべてコンピュータープレゼンテーションで行います。
演者の方はカーソルまたはリターンキー・マウスのどちらかを使用し、ご自身でスライド画面を進めて発表していただきます。
4. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。
5. 重要：発表データの登録受付は9:00より行います。発表用のPower point ファイルは、USBフラッシュメモリーまたはCD-Rに保存して、発表セッション開始時間の30分前までに発表データ受付をお願いいたします。

当日、用意いたしますPCは、

Windows OS : Windows 10

Power Point : Power point 2019 です。

ファイルのページ設定は35mmスライドをご使用ください。

ファイルは20MBまでとしてください。容量に制限があります。

上記のPC環境以外で作製されたファイルでは正常に動作するとは限りません。

事務局では動作確認のみ行い、変更作業などは一切行いませんのでご了承ください。

役員の方へ

幹事会開催のご案内

研究会当日、幹事会を下記のとおり開催します。
役員の方はご出席をお願いいたします。

記

日 時：令和3年11月7日（日）9:00～9:30 予定
場 所：四国大学 中央棟 4階 406号室
備 考：役員の方は、9:00 までにお集まりください。

以上

第 51 回徳島透析療法研究会 プログラム

第 1 会場

9 : 50 ~ 10 : 00 開会の辞

10 : 00 ~ 11 : 10 一般演題 0-01 ~ 0-07

座長 : 田代 学 (川島病院)

11 : 25 ~ 12 : 25 ランチョンセミナー 共催 協和キリン株式会社

「わが国の透析患者の貧血管理の課題と今後 ~ HIF-PH 阻害薬をどう使うか? ~」

演者 : 倉賀野 隆裕 (兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学)

司会 : 水口 潤 (社会医療法人川島会)

12 : 30 ~ 13 : 30 特別講演

「透析療法の展望」

演者 : 武本 佳昭 (大阪市立大学大学院泌尿器病態学)

司会 : 橋本 寛文 (吉野川医療センター)

13 : 30 ~ 13 : 45 総会

報告者 : 林 秀樹 (吉野川医療センター)

13 : 45 ~ 14 : 35 一般演題 0-08 ~ 0-12

座長 : 数藤 康代 (川島病院)

佐藤 由布子 (吉野川医療センター)

14 : 35 ~ 14 : 45 閉会の辞

第2会場

10：00～11：10 一般演題 0-13～0-19

座長：山下 翔（川島病院）

11：25～12：25 ランチョンセミナー 共催 大塚製薬株式会社

「常染色体優性多発性嚢胞腎 ～基礎から臨床まで～」

演者：米田 龍生（奈良県立医科大学 泌尿器科・透析部）

司会：林 秀樹（吉野川医療センター）

一般演題

第1会場

10:00～11:10 一般演題 0-01～0-07

座長：田代 学（川島病院）

0-01 当院におけるカフ型カテーテルの現状

JA 徳島厚生連 阿南医療センター 泌尿器科

○小居浩之（おい ひろゆき）、田上隆一、井上善雄、玉置俊晃

0-02 ロキサデュスタットの臨床的検討

JA 徳島厚生連吉野川医療センター

○林 秀樹（はやし ひでき）、坂本 健、中島 英、水田耕治、橋本寛文

0-03 大量置換 HDF、ALB リークによって改善する生命予後と症状について

社医)川島会川島病院 腎臓内科

○田代学（たしろ まなぶ） 久保田哲嗣 小橋口佳な 井上朋子 島久登 岡田一義
水口潤

0-04 腎盂腫瘍と鑑別を要した維持血液透析患者の腎結石の一例

社医)川島会川島病院 泌尿器科

○小橋口 佳な（こはしぐち かな）、長坂 直樹、越智 満久、久保田 哲嗣、西谷 真明

0-05 処方変更により低 Na 血症が改善した腹膜透析患者の1例

徳島赤十字病院 透析科

○松浦元一（まつうら もとかず） 稲垣太造 山田論 浜田陽子

0-06 腹膜透析中に発症した左横隔膜交通症に対し胸膜癒着術が著効した一例

社医)川島会川島病院

○久保田哲嗣 小橋口佳な 田代学 割石精一郎 城野良三 水口潤

0-07 2016年にエコーガイド下VAIVT導入しどう変わったか？

医療法人 尽心会 亀井病院 放射線部¹⁾ 診療部²⁾ 徳島赤十字病院 腎臓内科³⁾

○中田 拓史（なかだ たくじ）¹⁾、松浦 元一³⁾、榊 学²⁾、中達 弘能²⁾、村上 佳秀²⁾、
濱尾 巧²⁾

13：45～14：35 一般演題 0-08～0-12

座長：数藤 康代 (川島病院)

佐藤 由布子 (吉野川医療センター)

0-08 透析業務における手指衛生の遵守率向上に向けた取り組み
～5つのタイミングと7場面の行動～

JA 徳島厚生連吉野川医療センター 泌尿器科

○大塚 浩美 (おおつか ひろみ), 富樫 仁美, 長村 康枝, 岩佐 真弓, 三原 裕子,
佐藤 由布子, 林 秀樹, 橋本 寛文

0-09 長期透析患者の在宅看取りを可能にした一家族の経験

JA 徳島厚生連阿波病院

○山本 優子 (やまもと ゆうこ) 長岡 真澄

0-10 腎代替療法選択支援の充実

社医)川島会川島病院

○勝浦 宏美

0-11 船上のAPD ～腹膜透析導入後、船員として社会復帰した1例～

JA 徳島厚生連阿南医療センター

○河野 共子 (かわの きょうこ) 高橋真由美 折坂 千佳 松下 紗己 坂口 朋枝

0-12 ホームネットワークシステムを利用し、

自宅にてバック交換が継続できている認知症患者の一症例

社医)川島会川島病院 看護部

○戸田 己記 (とだ みき) 西分 延代 水口 潤

第2会場

10：00～11：10 一般演題 0-13～0-19

座長：山下 翔 (川島病院)

0-13 過去5年間における血液透析患者の臨床的統計

—日本透析医学会統計調査(全国平均)と比較—

亀井病院 臨床工学部

○近森 美月 (ちかもり みづき), 後藤 知宏, 伊東 秀記
亀井病院 診療部

濱尾 巧, 榊 学, 中達 弘能

- 0-14 当院での COVID-19 陽性患者及び濃厚接触者に対する血液透析の経験
つるぎ町立半田病院 腎センター
○割石大介（わりいしだいすけ） 佐藤祐樹 新居慎也 庄司良子
斎藤君子 横山智子 井上有佐子 岡本紅 福田喬太郎 森山貴弘 須藤泰史
- 0-15 導入1年以内に On-line HDF に移行した症例の臨床効果
社医)川島会川島病院 臨床工学部¹⁾ 腎臓内科²⁾
○長野圭吾（ながの けいご）¹⁾、廣瀬大輔¹⁾、近藤 航¹⁾、露口達也¹⁾、道脇宏行¹⁾、
島 久登²⁾、田代 学²⁾、井上朋子²⁾、岡田一義²⁾、水口 潤²⁾
- 0-16 薬液残留に対する日常管理の検討
社医)川島会川島病院 臨床工学部¹⁾ 腎臓内科²⁾
社医)川島会川島病院 臨床工学部¹⁾ 社医)川島会 藍住川島クリニック²⁾
○平岡 大知（ひらおか だいち）¹⁾、福留 悠樹¹⁾、萩原 雄一¹⁾、道脇 宏行¹⁾、長瀬 教夫²⁾
- 0-17 ニプロ社製ブラッドモニタリングセンサを用いた透析低血圧の管理について
JA 徳島厚生連吉野川医療センター
○岡田享大（おかだきょうた） 友竹永美理 阿部太志 森岡弘匡 大西章太 山田向志
原拓也 山本雅之 梯洋介 林秀樹 橋本寛文
- 0-18 超音波画像診断装置 FC1-X の血流量自動計測機能の評価
J A 徳島厚生連 阿南医療センター 臨床工学科¹⁾ 泌尿器科²⁾
○池内 琢真（いけうち たくま）¹⁾ 真野 一穂¹⁾ 西崎 力斗¹⁾ 石田 太一¹⁾
前田 修歩¹⁾ 谷 啓史¹⁾ 長地 佑太¹⁾ 川原 経男¹⁾ 小居 浩之²⁾ 田上 隆一²⁾
井上 善雄²⁾ 玉置 俊晃²⁾
- 0-19 エコーガイド下穿刺導入への試み
J A 徳島厚生連阿波病院腎センター¹⁾、J A 徳島厚生連阿波病院外科²⁾、J A 徳島厚生連
吉野川医療センター 泌尿器科³⁾
○大塚健一（おおつか けんいち）¹⁾ 亀田由美¹⁾ 武田光弘¹⁾ 楠 伸司¹⁾ 須見高尚²⁾
橋本寛文³⁾

徳島透析療法研究会 会則

第1章（名称）

本会は日本透析医学会認定地方学術集会であり、徳島透析療法研究会と称す。

第2章（目的）

本会は徳島県における透析療法の向上を図ることを目的とする。

第3章（活動）

本会は前条の目的を達成する為、次の活動を行う。

1. 学術集会、学術講演会の開催
2. 患者動態の調査
3. 透析療法に関する共同研究
4. メディカルスタッフによる学術集会の開催
(透析療法カンファレンスなど)
5. 会員間の情報交換
6. その他 目的達成に必要な事項

第4章（会員）

本会の会員は徳島県内の透析療法に関わる医療関係者とする。

第5章（入会および退会）

本会に入会を希望する者は事務局に申し込み、役員承認を得るものとする。

本会の退会を希望する者は事務局に届け出るものとする。

本会の名誉を著しく傷つけた者は、役員会の判断により、退会を命ずることができる。

第6章（役員会）

1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

- ① 会長 1名
- ② 幹事 10名程度
- ③ 監事 2名
- ④顧問 若干名

2. 役員を選出方法は次の通りとする。

次期会長は任期終了前に役員会が選任する。

会長以外の役員は会長の任命による。

3. 役員任期は4年間とするが、再選は妨げない。

4. 役員会は本会の目的達成のため努めなければならない。

第7章（事務局）

本会の事務局を幹事の内1名が所属する施設内に置く。事務局は、役員会と連携し、本会の運営に努めなければならない。

第8章（会計）

本会の会計は、次の収入をもってこれにあてる。

- ① 会員の会費
- ② 参加費
- ③ その他 役員会が認めた寄付金、賛助金等

第9章（会費）

本会は会員から毎年会費を徴収する。（別紙）

第10章（開催）

役員会、総会を年1回以上開催する。

第11章（改廃）

会則の改廃は研究会にはかり出席者の過半数以上の賛同をもって決定する。

第12章（施行日）

本会則は平成12年6月1日から施行する。

（付記）

平成21年11月22日改定	第6章 ②幹事7名
	第6章 次期会長の選任について
平成23年11月27日改定	第6章 ②幹事10名程度
平成27年7月14日改定	第4章 4項の誤記載の修正
平成30年11月25日改定	第6章 ④として顧問若干名を追加